令和元年度　森林環境譲与税の使途について

市町村名	事業区分	事業名	事業総額（千円）			当年度基金への積立額（千円）	事業内容	針広混交林化、広葉樹林化に関係する事業は「〇」を選択	（ｘ）実績																		その他	税導入の効果
									森林整備関係								人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用				
			(A)+(B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）				意向調査実施面積(ha)	間伐等実施面積			路網整備			その他	事業体等への助成		研修、講習、求人イベント等		その他	研修や普及啓発イベント等		その他	公共施設等の木材利用		その他		
										間伐(ha)	除伐(ha)	その他	林道・林業専用道の開設延長(m)	森林作業道の開設延長(m)	その他		事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）		回数（回）	参加者・体験者数（人）		施設数	木材使用量(m3)			
小千谷市	⑥ 林道・林専道の整備等	林道舗装工事	3,004	2,753	251	0	林道岩沢線舗装L=150m								森林作業道舗装（150m）															当市の森林作業道の舗装済延長は、全体の61.8%であり、森林保全のための事業を行う際の作業機械の搬入や、木材の搬出を効率的に行う環境が整っていない状況にあります。 森林環境譲与税の活用により森林作業道の舗装済延長が全体の62.2%になり、森林保全を効率的に実施する環境の整備が進みました。